

KANYO

今回のスマイリーはレストランシーサイドで働くスタッフの紹介です☆
 写真をとる間もずっと楽しい雰囲気の皆さん。レストランにお越しの際はぜひお声がけください☆☆☆



左：菊地 弘美 右：主藤 奈穂子

菊地：趣味はDVD鑑賞「燃えよドラゴン」等ブルースリーが特に好きです！
 主藤：買い物したり温泉に行ってマッサージをしてもらうのが何より好きです！
 海が見える仕事場で常連のお客様とお話をしたり仲間とたわいもない話をしているのが楽しいと二人そろって話してくれました。



阿部 武義
 南三陸の海でのスキューバダイビングが趣味です！
 資格もちゃんと持ってますよ～！
 お客様には是非、ホテル観洋にお越し頂いて新鮮な魚介類を召し上がって頂きたいですね!!



佐藤 俊彦
 趣味は森林浴です。もちろん家族と！
 自然散策が大好きです。
 フランスで8年間修行した経験を生かし、地産地消の考えを元にフランスのエスプリを加えたお料理をお客様に提供したい、お客様にはホテル観洋で新たな発見をして頂きたいです。

新潟への応援！！

新潟中越沖地震で被災された方々を支援する為に8月12日に「アルパ&中国の雑技団チャリティーショー」が開催されアルフレド・ロランド・オルティス氏による素敵なアルパの音色が皆様を魅了しました。
 チャリティーのショーや当ホテルにお越しいただいたお客様より寄せられたあたたかい義援金を8月31日に米倉支配人より日本赤十字社宮城県支部南三陸町区分を通じてお渡しいたしました。
 募金を頂いた皆様本当にありがとうございました！



アルパ奏者
 アルフレド・ロランド・オルティス氏



お知らせ

十五夜も過ぎ次第に秋が色濃くなってきましたね。季節の変わり目に風邪等ひかれないようお気を付け下さいませ。HP部門の「花まるいただきました」や「ときめきピチピチ便り」も好評をいただきました。情報誌も負けてられない、と編集部一同奮闘しております。より良い「KANYO」になるよう、観洋の思い出のお手紙やご意見・ご感想等観洋に関する事なら何でもOK!ですので、皆さまの熱い思いをお知らせ下さいませ。お待ちしております。

〒986-0766
 宮城県本吉郡南三陸町志津川字黒崎 99-17
 南三陸ホテル観洋 情報誌編集部
 E-mail: minamisanriku@kanyo.co.jp
 FAX :0226-46-6200
 Special Thanks
 写真・資料提供
 鈴木総務次長・経理千葉・総務阿部



編集後記

今回残念ながら西條はお休みです。いつもかわいいイラストで情報誌を盛り上げてくれる西條。情報誌がうまくまとまっているのは西條によるものです。次回の登場にご期待下さい!!

9月だけで3回も転んでしまいました。足にきております。いろんな人に現場を目撃され恥ずかしい限り…どうか暖かく馬鹿にしてやって下さい。(佐藤 千春)

「人生とは苦なのです」
 「よいことの方がまれなのです」
 ありがたいお言葉です。(西大條 美樹)

～これで貴方も観洋ツウ～

KANYO

●南三陸 ホテル観洋

VOL. 16 南の熱気
 H19. 10月発行

熱論！！観光トークLIVE in南三陸

去る9月15日「これでいいのか“東北観光”～観光新時代に向けて～」をテーマに南三陸町内のベイサイドアリーナでシンポジウムが開かれました。
 宮城県は来年開催の仙台・宮城デスティネーションキャンペーンへ向けて地域ごとに観光振興への積極的な活動を展開していましたが、こうした流れを受け今回の「観光トークLIVE」という形式で開催されました。めかぶうどんをはじめとした南三陸を味わう特設コーナー等もあり、地元の方や県内外より集まった観光関係者等を含め約300名が来場しました。観洋メンバーもシンポジウムへ参加し勉強させていただきました。



名コーディネーターは
 (株)ジェイティービー清水慎一常務取締役



自分たちの文化や特色を知り近隣の地域と協力することが大切という事を教えていただきました。

シンポジウムは来場者も2色のカードで参加する場面も有り、生の声を取り入れた活気あるシンポジウムとなりました。今回のシンポジストは国土交通省の大野裕夫海事局次長と神田昌幸氏・経済産業省の井上宏司氏・地域総合整備財団(ふるさと財団)の今泉道雄氏の4名様と南三陸町ブランド塾の志賀秀一塾長や佐藤仁南三陸町長・気仙沼地方振興事務所河端章好所長・当館の阿部女将からなる地元チームに分かれお互いの意見を述べる内容の濃い大変貴重な意見交換会となりました。

そして夜はホテル観洋にてシンポジストとの交流会が催されました。関係者がステージで観光や南三陸へ対する熱い想いを述べたり、とおいで下さった方々がひとつになった一日でした。



交流会では南三陸町のキャッチフレーズ「夕風を食べてみませんか。」をテーマにガラスの浮き球や流木を幻想的に演出。スタッフも心をこめておもてなし致しました。

ふるさと観光講座第2期コース☆スタート

観光客の皆様にご喜んでいただく為に南三陸町主催の「ふるさと観光講座」の第2期コースが9月18日よりスタートしました。民話を学ぶ講座に加えて養殖体験や笑顔でおもてなしワークショップ等興味深い講座も加わり、ますます充実した内容にバージョンUP。
 前回と大きく違うのは固定したメンバーだけでなく、興味のある講座には一般参加も可能になった事。
 ホテル観洋からも新しいメンバーで「ふるさと観光案内人」になるべく参加中。第2期コースに期待大です。

一写真は8月29日に開催された「笑顔でおもてなし講座」の様子



伝統の南三陸町 おまつり特集！！

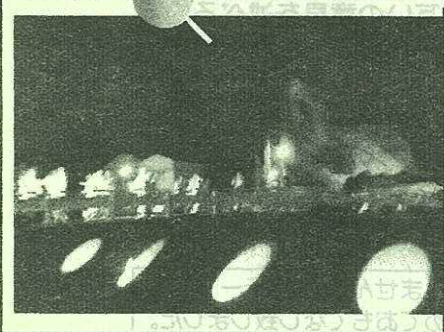
◆ 汐涼み会

8月12日にサンオーレ海水浴場にて汐涼み会が開かれました。ガラスの浮球のライトアップとかがり火がお出迎え。アコースティックギターの汐風コンサートでは懐かしいメロディが披露されました。浴衣姿の方には先着300名様にミニかき氷プレゼントという嬉しい特典もありました。ホテルからはバスが3台も出ました！参加した皆さま、いかがでしたでしょうか。



◆ 入谷八幡神社 例祭

南三陸町入谷の秋祭りは200年以上の伝統と歴史を持っています。9月16日に入谷打囃子と呼ばれ華やかな衣装と山車が五穀豊穡と家内安全を祈願して町を練り歩きました。4つの沢が持ち回りで奉納します。平成11年に無形民族文化財に指定され、毎年多くのお客様が来町されるお祭りです。来年のデスティネーションキャンペーンにも是非PRしたいと言う町民も多数の愛されているお祭りです。



◆ 八幡川かがり火まつり

間もなく鮭がのぼってくる事で有名な町内の八幡川。8月25日に八幡川かがり火まつりが行われました。八幡川の中に設置したかがり火と500個の竹灯籠が川面に揺らめきゆるやかな時間の流れを演出しました。かがり火まつりは今の様に冷房等がまだ普及して無い時代に周辺の人々が八幡川に集まって夕涼みをしていた頃を周辺の商店の有志により再現したとの事。八幡町打囃子や海童いしゃりによるYOSAKOI・大森創作太鼓が披露される等活気のあるお祭りになりました。

◆ 流灯会

8月16日に八幡川でご先祖様の霊を供養する流灯会がありました。約1600個の色とりどりの灯籠が流され、川岸にはご家族がそれぞれ手を合わせていました。

町内でお祭り等がある時は臨時で無料送迎を出しております。めったに参加出来ない南三陸町の行事に参加し、町民の皆さんとのふれあいを楽しんでみてはいかがでしょうか。

◆ 上山八幡宮 秋祭り

9月14日の夜神楽等が奉納される宵宮祭と9月15日の神輿・稚児行列が有りました。こども絵灯籠が境内までをびかびか照らし、夜店も出ます。お子様には神さまからのおくりものも大好評。

ウマイモ/情報通信

～汐風を食べてみませんか。～

仙台・宮城デスティネーションキャンペーンの南三陸町のキャッチフレーズ「汐風を食べてみませんか。」に合わせて、レストラン「シーサイド」で新しいメニューが続々登場！！今回はその中から厳選してご紹介しましょう。

南三陸汐風したて

¥3,500 (税込み)

鮑・帆立・秋鮭・イクラの南三陸四重奏として9月25日に「めざましTV」にて紹介された一押しのお旬の一皿。鮑の肝を練りこんだ絶品フレンチソースをお試しあれ！

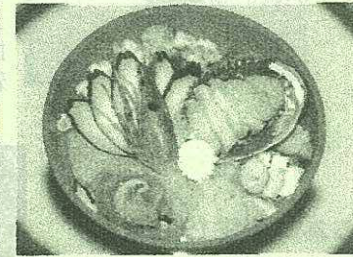
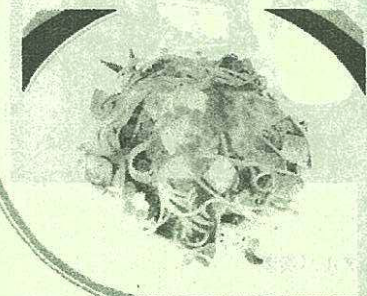


イクラがキラキラ

鮭イクラ スバゲティ

¥1,260 (税込み)

今が旬の鮭・イクラの豪華親子の共演！！イクラ好きにはたまらない一品。



特選 南三陸丼

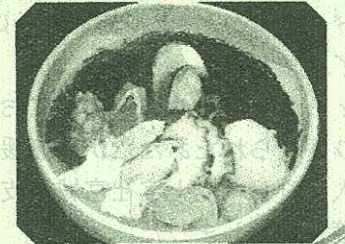
¥2,100 (税込み)

三陸産鮑やうに等南三陸の海の幸を味わうならコレ！！是非一度お試しあれ。

磯ラーメン

¥1,050 (税込み)

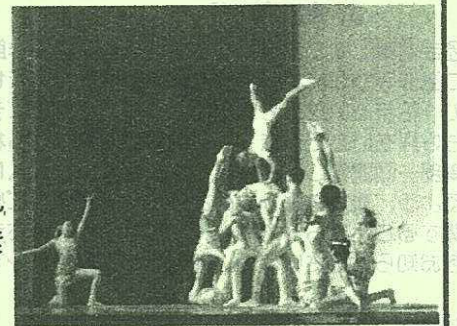
従来の磯ラーメンに改良を加えてレベルUPしました。志津川蛸やホヤをはじめとした贅沢ラーメンがリーズナブルな料金で登場。



that's 雑技団ショー & ホテル研修生来館

連日大好評上演中の中国雑技団ショー。

8月17日より大連から来日した新しいメンバーに入替えとなりました。今回のメンバーは9～16歳の若いメンバー13名で構成されています。オープニングからチームワークの良い動きや人間離れした演技の数々。是非「生」で見て・感じていただきたい雑技団ショーです。※休演日もございます。



昨年9月よりホテルへ研修に来日していた中国研修生がおかげさまで無事9月21日に1年間の研修を終了し、帰国しました。入れ替わりで同日には新しい研修生が来館。これから1年間を通じて日本の文化・言語・ホテルサービスを勉強します。館内でお見かけしましたらお気軽にお声掛け下さいませ。